

土砂災害の心得

土砂災害の予兆現象

●急傾斜地の崩壊●



- ・斜面から水が湧き出ている。
- ・小石がばらばら落ちてくる。
- ・斜面に割れ目が見える。

●土石流●



- ・川が濁り、流木が混ざっている。
- ・地鳴りや山鳴りがする。
- ・雨が降っているのに川の水位が下がる。

●地すべり●



- ・井戸の水が濁る。
- ・斜面から水が湧き出す。
- ・地面がひび割れたり、陥没や隆起をする。

⚠ 予兆現象に気づいたら・・・



近所の人に声をかけながら、早急に安全な場所に避難してください。



より多くの人に危険を知らせるため、最寄りの土木事務所や市役所に情報提供をして下さい。

何よりも早めの避難を!!

- 土砂災害は洪水などと違い、大きな破壊力で一気に襲ってくるため、人命に関わるととても恐ろしい災害です。
- 土砂災害は豪雨や地震に寄って突発的に発生します。いつ、どこで、どの程度の規模で発生するのか、正確に予測する事はできません。
- 今まで崩れた事が無い場所でも安心出来ません。
- がけ崩れや土石流はあっという間のスピードで襲ってきます。気づいてから逃げる事はとても困難です。

避難の心得



避難する前に

電気・ガス等の火元を確認しましょう。荷物は最小限にし、近所の人に行き先を伝えましょう。家族が不在の時には連絡先等のメモを残しましょう。



正確な情報収集を

ラジオやテレビなどで正しい情報をつかみ、あわてず冷静な判断をしましょう。



歩いて避難

車での避難は緊急車輛の妨げとなります。できるだけ決められた避難所に歩いて避難しましょう。単独行動はとらず、集団で行動しましょう。

※自動車での避難をする場合は、避難準備情報がた段階での早期自主避難を実施して下さい。



安全な避難経路で

狭い道は避け、がけの近くは通らないようにしましょう。避難経路は日頃から確認しておきましょう。



協力しあって避難

高齢者や体の不自由な方など、避難が困難な方々(災害時要救護者)に声をかけ、助けあって避難しましょう。日頃からの地域コミュニティのつながりも大切です。



家に引き返さない

土砂に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物等を取りりに家に戻らないようにしましょう。